

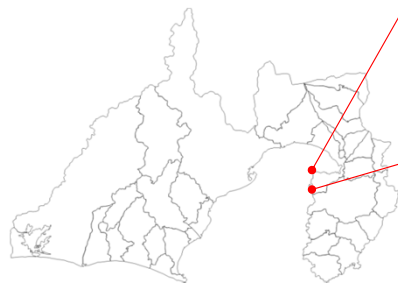
第1回津波対策地区協議会の開催 (H28.10.12)

平成28年度第2回
静岡県河川審議会
大・沢海・井田大―資料―6

沼津市戸田地区において、市とともに地元住民と津波対策の現状を情報共有し、津波に対する様々な意見を出し合う「第1回津波対策地区協議会」を開催しました。昨年6月に公表された津波高さや津波対策の基本的な考え方を説明した後に、ワークショップにより津波に対する意見を交換し、各グループで発表を行いました。

開催概要

- 会議名 みんなで津波対策について語る
- 開催日 平成28年10月12日(水曜日)
- 参加者 自治会の防災担当者など30名
- 主旨 地域の特徴を知る住民の意見を聞き、その内容を効果的に組み合わせて、今後の対策を検討する。



ワークショップ

- 戸田地区は4つのグループに分かれ、井田地区は1グループで津波に対する意見を交換し、各グループで発表しました。

テーマ 津波対策について戸田地区でできること



意見交換



発表

主な意見

【津波を“防ぐ”ことに関して】

- ・景観上の課題はあるが、防潮堤は必要でないか。
- ・津波が遡上し川があふれ逃げる道がふさがってしまうので、河口に水門が必要ではないか。
- ・施工できるかわからないが湾口に津波対策のゲートを設けるのはどうか。

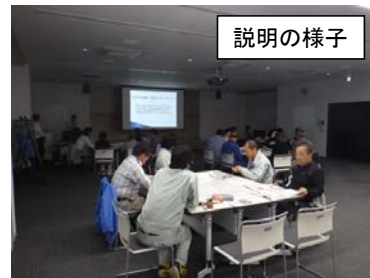
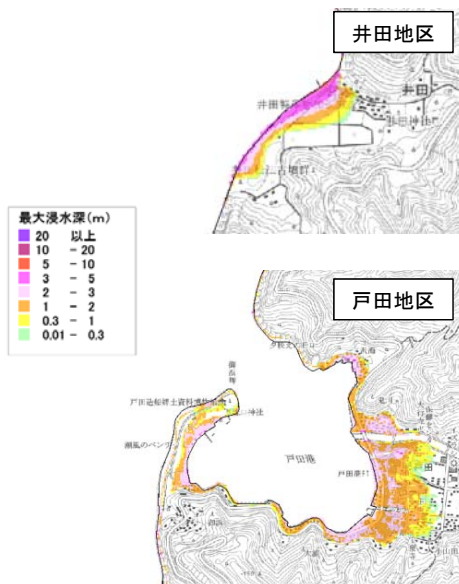
【津波から“逃げる”ことに関して】

- ・高齢者も多く避難方法に対する不安がある。
- ・山を登る余裕がないと思われる。
- ・揺れている時間は避難できない。実際にはどの程度の時間があるのか。
- ・地震で道がふさがれて逃げられない可能性がある。

【津波に“備える”ことに関して】

- ・木造住宅だけど、1階は水害対策用に鉄筋とし、強固な構造にしている。
- ・避難ビルの場所を知っておく必要がある。
- ・ライフジャケットを配布し津波時に使用する。

行政からの説明



説明の様子

- 想定されるレベル1津波とレベル2津波の概要、浸水範囲や浸水深さ
- 浸水深さと被害の関係について
- 戸田地区における過去の津波被害
- 津波対策に関する静岡県の基本方針

今後の予定

次回(12月開催予定)は、津波対策のハード・ソフト面を行うことにより問題となることについて話し合ってもらい、戸田地区としては、どの様な対策が望ましいか、検討を進める予定。